

平成29年7月10日

答申第786号

#### 1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、「平成29年度収支予算・事業計画の業務別予算のラジオ部門で、FMの放送費が減額される理由等について」として、「①前年度比較によるラジオ番組予算は、R1・ラジオ国際が増額されているのに、FMだけが△6億円と大幅に減額されている。なぜFMだけが約7%も大幅に減額されるのか、その理由と内容（内訳）。リオ五輪のFM放送費がその6億円か、の確認でもある。②従来からの『総合音楽波』としての位置づけ以外、新年度からは『次の時代に伝え継ぐべき伝統芸能・文化のすそ野の拡大や、若者向け番組の強化を図り、接触者をさらに増やす取り組みをしていきます。』とFMの役割と方向性が大きく刷新されているが、減額してどうしてこの方針が執行できるのか」に係る文書の開示の求めがあった。

NHKは、開示の求めの文書はいずれも存在せず開示することができないとした。

なお、①については「FM放送のチャンネル別予算は、28年度は77億円、29年度は75億円であり、対前年度比で2億円の減額となっている」こと、および「各年度における予算はその年度の計画にもとづき、必要額を計上している」こと、②については「29年度のFM放送の編集方針」を情報提供した。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

#### 2 NHKの見解の要旨

開示の求めの文書はいずれも存在せず開示することができない。

なお、FM放送のチャンネル別予算の対前年度比で2億円の減額となっている内訳は、物件費1億円、人件費1億円である。

#### 3 審議委員会の判断

開示の求めの文書はいずれも存在しないと認められ、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

#### 4 審議の経過

平成29年7月10日（第251回審議委員会）

第799号諮問、審議、答申